

V 祖父母をはじめ、子育てを支援する幅広い年代の方を対象にしたプログラム

V-3 親への接し方・子育てアドバイス

対象：地域の大人
時間：60分程度

ねらい	子育て中の親へのかかわり方や相手が受け入れやすい支援のあり方について考える。		
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ内で十分他の方の考えを聞くことができる。 ○ 支援をしていく上で、子育て中の親の話をしっかり話を聞いて気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることも大切であることに気付くことができる。 		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名札 ○ 筆記用具 ○ 資料 ○ あらかじめ4名程度のグループに分かれておく。 (参加者の年齢や性別ができるだけ偏らないようにする。) 		
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物
導入 10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク	・自由に飾らずに意見を出し合うためのウォーミングアップをする。	名札
展開	15分 ワーク1 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思いを考えることやグループ内でそれぞれの考えを聞くことを通して、自分の受け止め方や考え方を振り返ることをねらいとする。(ワーク2でも同様) ・自分に自信がもてない親の気持ちを聞いたときの受け答えを考える。 	資料
	20分 ワーク2 ・各自の思いを記入する。 ・グループ内で紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎子育て中の親の気持ちを受け止めること、親のがんばりを認めることが大切であることに気付くことをねらいとする。 ・子どものことを思って自分がんばっているのに、うまくいかないと思っている親の対応についてどう思うか、また自分ならどのように答えるかを考える。 	
	5分 資料紹介 ・子育て意識に関する資料の説明を聞く。 ・気付いたことを発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎多くの親は子育てに不安をもっており、支援していく必要があることに気付くことをねらいとする。 	
まとめ 10分	ふりかえり ・各自の思いを記入する。 ・各自の思いを紹介し、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間があれば、全体場で多くの人の感想を共有できるようにする。 ・参加者が学習に取り組んだこと自体が大変すばらしいことであることを伝える。 ・時間があれば、子育てをする親をみんなで守り、サポートしていくことが必要なことを伝える参考資料等を紹介する。 	

※ 時間が取れない場合はワーク1、ワーク2どちらかだけを行う。